

氏名	高柳 雅朗	部署	共通教育科	職名	准教授
研究分野	解剖学、神経解剖学、解剖学教育				
学位	博士（農学）				
学歴	名古屋大学農学部卒業、名古屋大学大学院農学研究科博士課程（前期課程）修了、名古屋大学大学院農学研究科博士課程（後期課程）修了				
経歴	1996年 東邦大学医学部 助手、2019年 埼玉県立大学保健医療福祉学部 准教授				
所属学会（役職）	日本解剖学会、日本神経科学学会、日本獣医学会、日本看護学教育学会、日本メディカルイラストレーション学会、埼玉県立大学保健医療福祉科学学会（理事）、日本人間工学会システム大会部会、看護人間工学会				

【2023年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	該当なし					
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名
1	食道・胃・十二指腸の学習教材ペーパークラフト-医療従事者をめざす学生のための実物大の解剖学の学習教材-	共著	あり		日本メディカルイラストレーション学会雑誌, 5, 26-32	高柳雅朗、野崎真奈美、篠原理恵
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）	発表等年月	
1	脳幹の解剖学教材ペーパークラフトの開発	共同	第5回看護人間工学会学術集会、名古屋市	○高柳雅朗、野崎真奈美	2023.9	
2	ヒトの身体をわかりやすく学べる教材を目指して	単独	第32回日本人間工学会システム大会、東京	○高柳雅朗	2024.3	
3	ペーパークラフト教材におけるゲーミフィケーションの可能性	共同	第32回日本人間工学会システム大会、東京	○野崎真奈美、高柳雅朗、篠原理恵	2024.3	
4	脳の学習教材ペーパークラフトの開発	単独	第129回日本解剖学会総会・全国学術集会、那覇市	○高柳雅朗	2024.3	
5	アルツハイマーモデルマウスを用いた脳血流量測定による機能解析	共同	第129回日本解剖学会総会・全国学術集会、那覇市	○井上由理子、江連博光、伊藤純治、澤智華、田中美香子、高柳雅朗、井上明男、大塚成人	2024.3	
(4) その他						
	名称	単・共	発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月	
1	頭蓋を構成する骨について	単著	心とからだの健康, 28(3), 72-75	○高柳雅朗	2024.3	
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称	研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間		
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C）	遠隔授業でも全身の骨を自分の手と眼で立体的に学習できるコスパに優れた教材の開発	研究代表者	2022.4-2027.3		
2	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C）	ランゲルハンス細胞と知覚神経C線維の関係-褥瘡モデルマウスによる神経解剖学的解析	研究分担者	2022.4-2025.3		
3	2022年度 埼玉県立大学奨励研究費（S研究）	脳性麻痺児のQOL向上を目的とした軟部組織由来関節拘縮のメカニズム解明	研究分担者	2022.4-2024.3		

3. 教育業績				
(1) 講義				
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)
1	解剖学①、解剖学②	○	30	1年生を対象に、人体模型を用いて立体的な理解が出来るよう工夫した。自分および他者の身体での理解も出来るよう努めた。
2	解剖学特論	○	15	1年生を対象に、運動器と神経系について、人体模型を用いて立体的な理解が出来るよう工夫した。自分の身体で理解が出来るよう努めた。
3	応用人体構造機能論	○	9	大学院博士前期課程の学生に対し、中枢神経系の講義をした。
4	ヒューマンケア論①、ヒューマンケア論②		30	全学科・専攻の1年生がヒューマンケアとは何かについて自主的に考察できるように、科目担当者として科目責任者をサポートした。
(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)
1	IPW演習①、IPW演習②		15	全学科・専攻の3年生を対象に、多職種理解や多職種連携で重要な葛藤や合意形成等の理解を深めるよう、講義と指導をした。
2	理学療法特別演習 (国家試験対策)		1	理学療法学科の4年生に対し、過去の理学療法士国家試験の問題を解説しつつ、神経系の解剖学に重点をおいて講義した。
3	作業療法総合演習 (国家試験対策)		1	作業療法学科の4年生に対し、過去の作業療法士国家試験の問題を解説しつつ、神経系の解剖学に重点をおいて講義した。
4	保健医療福祉演習 (応用人体構造機能Ⅰ)	○	15	大学院博士前期課程の学生に対し、形態学的研究法および組織学的研究法について、基礎的事項を中心に講義および演習をした。
5	保健医療福祉演習 (応用人体構造機能Ⅱ)	○	15	大学院博士前期課程の学生に対し、形態学的研究法および組織学的研究法について、電子顕微鏡を中心に講義および演習をした。
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)
1	解剖学実習 (理学・作業)	○	22.5	理学療法学科・作業療法学科の1年生に対し、人体模型を用いて骨、筋、脳、内臓の各構造について実習をした。
2	解剖学実習 (行動)	○	15	健康行動科学専攻の1年生に対し、人体模型を用いて骨、筋、脳、内臓の各構造について実習をした。
3	生物学実験		2	1年生に対し、屠殺場由来のブタ頭部を用いて脳および眼球について実習をした。
4	解剖学標本見学実習	○	2023.12	理学療法学科・作業療法学科の1年生に対し、ヒト遺体の解剖学標本を用いて運動器、神経系、内臓を中心に人体構造について実習をした。
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	該当なし		主指導	副指導
			名	名
(5) その他				
	名称	期間	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)	
1	解剖学実習	2023.4-2023.6	ヒト遺体を用いて網羅的かつ局所解剖学的に実習をした。	
2	人体の構造と機能及び疾病	2023.9-2024.2	初学者への導入として、重要項目を絞り、分かり易い解説を努めた。	
3	解剖学Ⅱ	2023.12-2024.1	人体模型を用い、立体的かつ自分の身体での理解を促すよう努めた。屠殺場由来のブタ内臓 (心臓、肺、腎臓) を用いて解剖学実習を行い、学生が能動的に実習するよう指導した。	

4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	防災と自助・共助について考える	埼玉県立大学	防災の現状と課題を見出し、防災意識を高めましょう!せんげん台の防災と一緒に考えてみませんか?	2023.6-9
2	頭蓋骨を組み立ててみよう	埼玉県立大学	頭蓋骨の構造を学び、模型の分解と組み立てをして知識を深めます。	2024.2
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称	任期	
1	埼玉県立大学保健医療福祉科学学会	理事、学術集会企画運営委員長	2023.4-2025.3	
2	社会福祉法人 気づき	評議員	2021.7-2025.6	
3	日本人間工学会システム大会部会	大会長	2023.9-2024.3	
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容	年月	
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			
5. 学内運営				
	項目	内容	期間	
1	学科等における委員会等	学部 教務委員会 委員 (専門基盤科目)	2023.4-2024.3	
2	大学広報活動	オープンキャンパスへの参加	2023.8	
3	大学広報活動	彩の国ビジネスアリーナ2024への出展	2024.1	
6. 受賞 (研究、教育、社会貢献活動に関するもの)				
	受賞名	主催	受賞年月	
1	該当なし			
7. 特許の取得				
	特許名	特許番号	登録年月	
1	該当なし			
8. 特記事項				
1	該当なし			